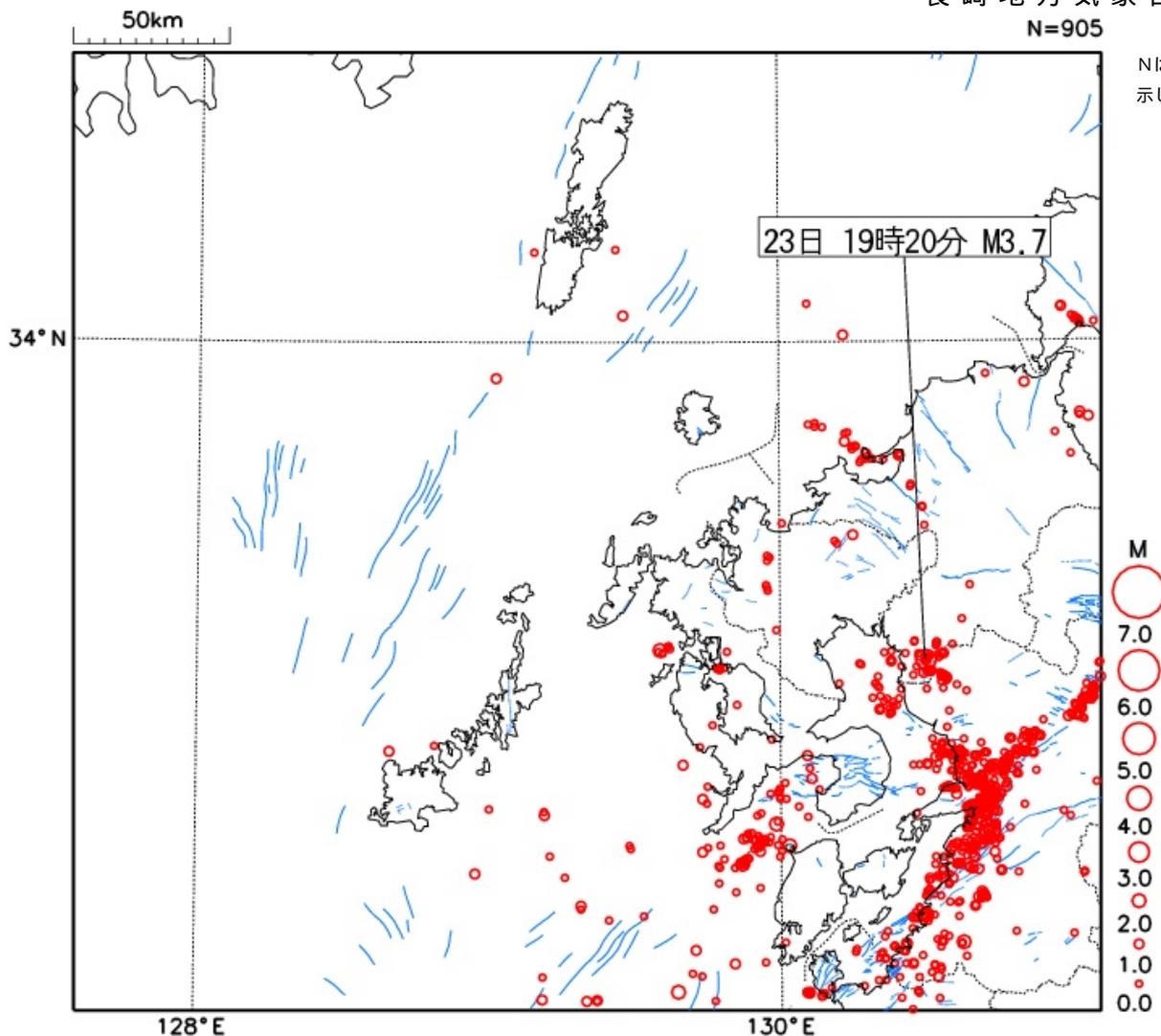


# 長崎県の地震活動概況 ( 2019 年 5 月 )

令和元年 6 月 10 日

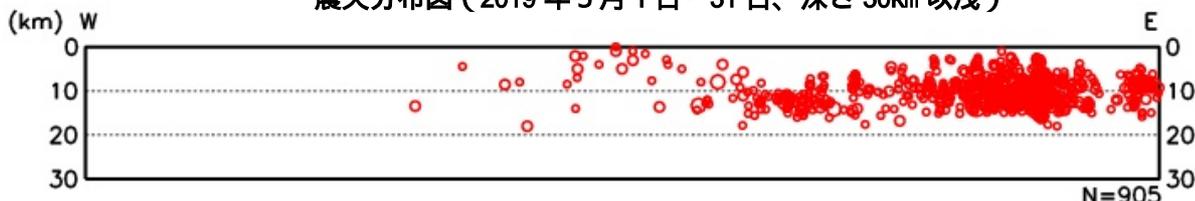
長崎地方気象台

N=905



Nは領域内の地震の数を示しています。以下同じ

震央分布図 ( 2019 年 5 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30km 以浅 )



断面図 ( 2019 年 5 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30 km 以浅 )  
( 震央分布図を南の方から見た断面図です )

## 地震活動の概況 ( 2019 年 5 月 )

5 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 4 回 ( 上記震央分布図領域外 3 回を含む ) でした ( 4 月 : 0 回 ) 。 詳細は次ページ以降のとおりです。

本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す ( 活断層のデータは新編日本の活断層による ) 。  
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 ( 河原、熊野座 ) 、米国大学間地震学研究連合 ( IRIS ) の観測点 ( 台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東 ) のデータを用いて作成している。

**日向灘（1ページ震央分布図領域外）**

10日07時43分に日向灘で発生したM5.6の地震（深さ25km）により、宮崎県、鹿児島県で震度3を観測したほか、九州地方から中国・四国地方の一部にかけて震度2～1を観測しました。長崎県では、南島原市で震度2を観測したほか、諫早市、島原市および雲仙市で震度1を観測しました。また、ほぼ同じ場所で同日08時48分にM6.3の地震（深さ25km）が発生しました。この地震により、宮崎県で震度5弱を観測したほか、九州地方から中国・四国地方、近畿地方の一部にかけて震度4～1を観測しました。長崎県では、南島原市で震度3を観測したほか、県内の広い範囲で震度2～1を観測しました（図1）。

この地震の震源付近（図3領域b）では、M5以上の地震が時々発生しており、2009年4月5日にM5.6の地震（深さ28km、最大震度4）が発生し、長崎県では、雲仙市、南島原市で震度2を観測しています（図2～4）。

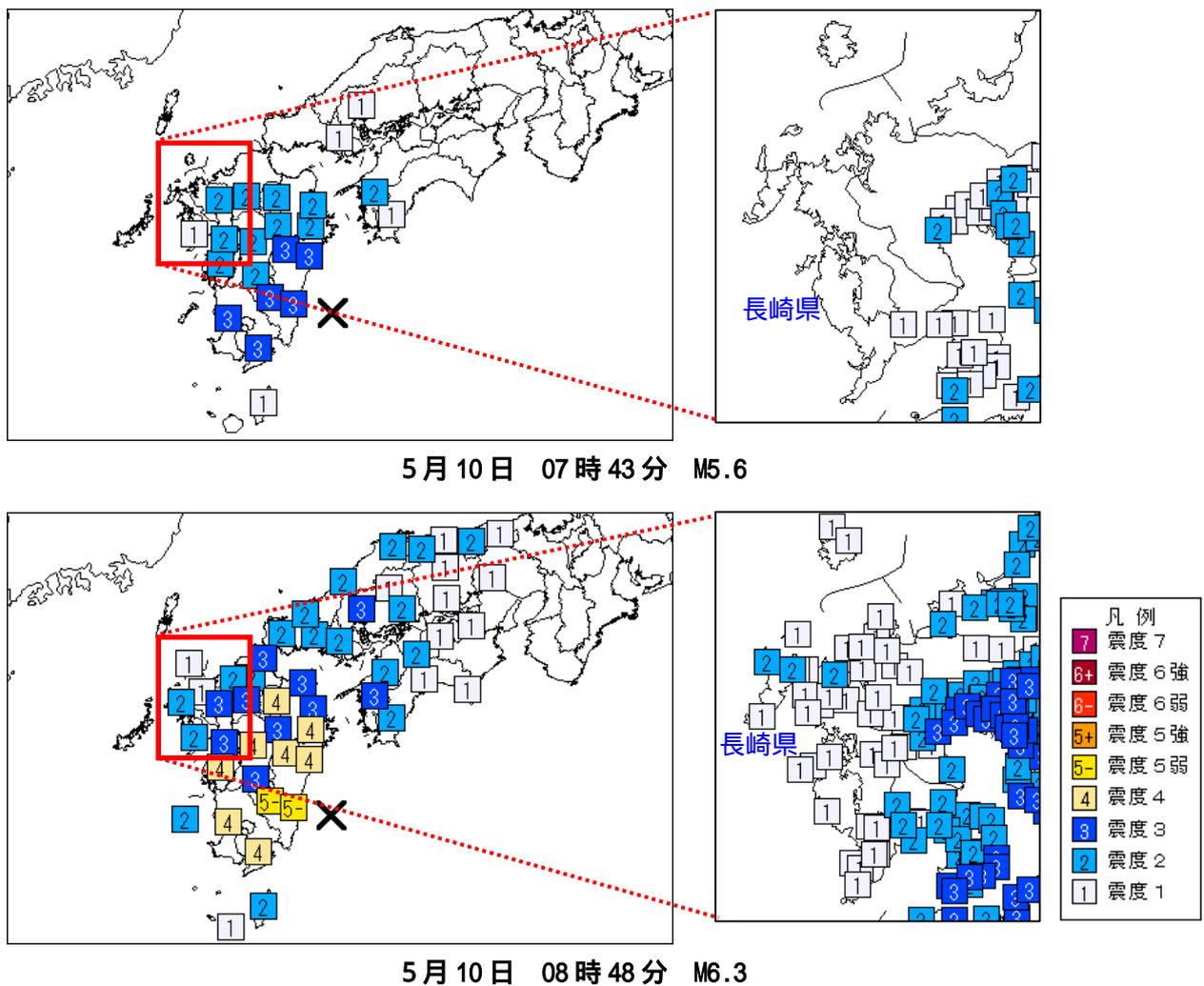


図1 震度分布図（左：地域別、右：観測点別 ×：震央）

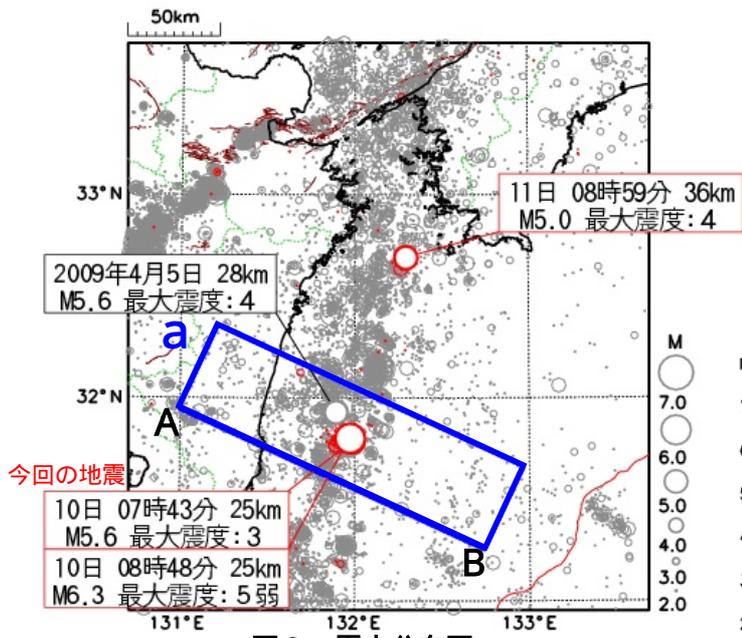


図2 震央分布図

(1997年10月1日~2019年5月31日 深さ0km~90km M 2.0)  
2019年5月1日以降の地震を赤で表示

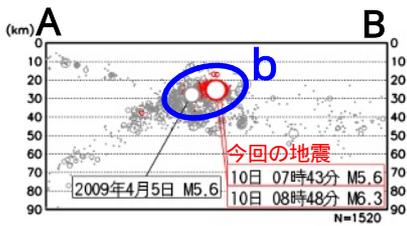


図3 図2領域aの断面図 (A - B投影)

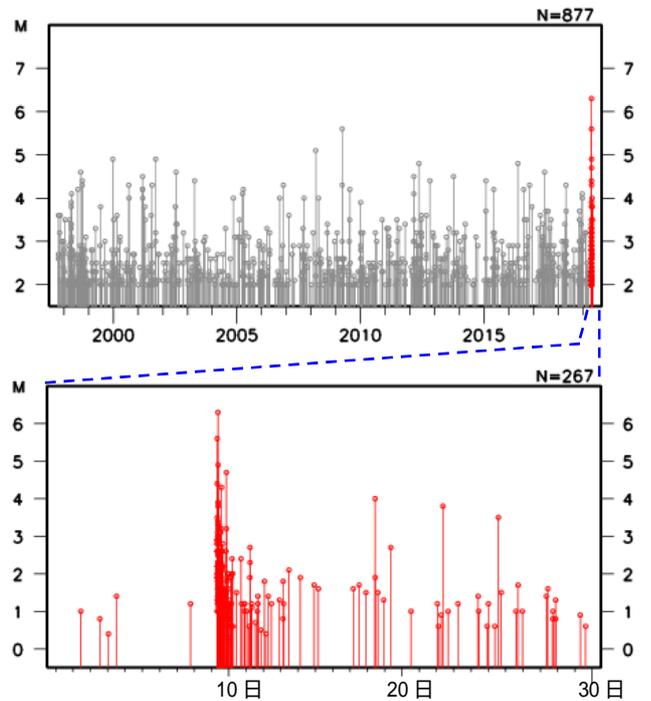


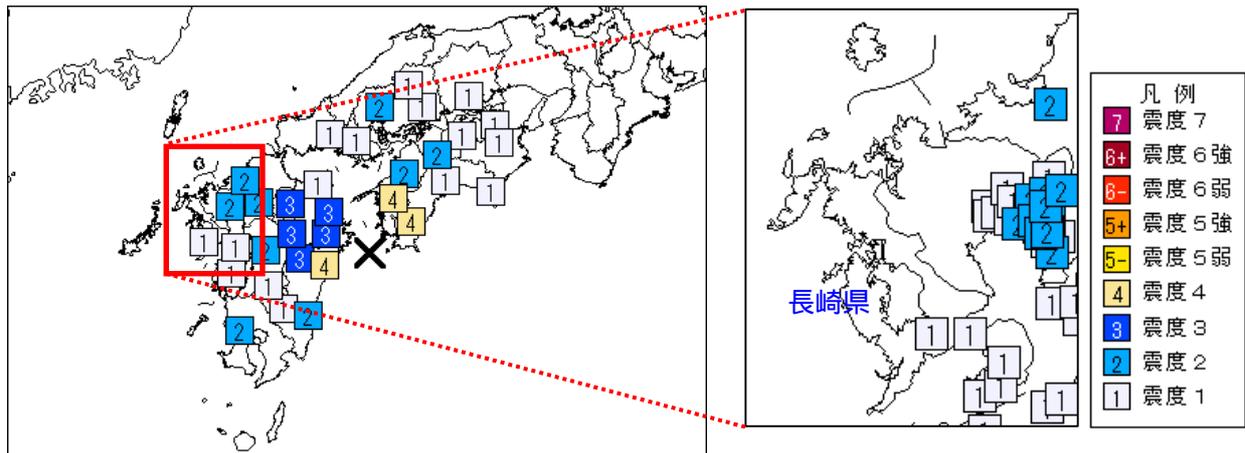
図4 図3領域b内の地震活動経過図

(上段:1997年10月1日~2019年5月31日 M 2.0、  
下段:2019年5月1日~2019年5月31日 Mすべて)

**日向灘（1ページ震央分布図領域外）**

11日08時59分に日向灘で発生したM5.0の地震（深さ36km）により、宮崎県、愛媛県および高知県で震度4を観測したほか、九州地方から中国・四国地方にかけて震度3～1を観測しました。長崎県では、諫早市、雲仙市および南島原市で震度1を観測しました（図5）

この地震の震源付近（図7領域d）では、M5以上の地震が時々発生しており、2006年3月27日にM5.5の地震（深さ35km、最大震度5弱）が発生し、長崎県では、諫早市、雲仙市および南島原市で震度2を観測しています（図6～8）。



5月11日 08時59分 M5.0  
図5 震度分布図（左：地域別、右：観測点別 x：震央）

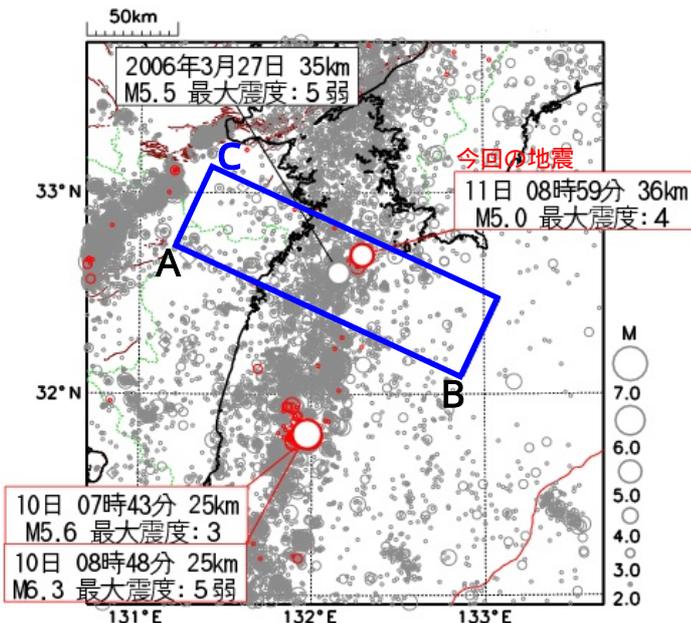


図6 震央分布図  
（1997年10月1日～2019年5月31日  
深さ0km～90km M 2.0）  
2019年5月1日以降の地震を赤で表示

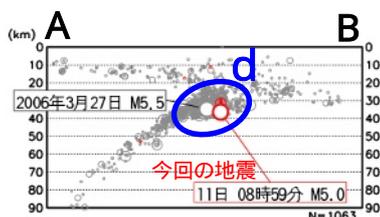


図7 図6領域cの断面図（A - B投影）

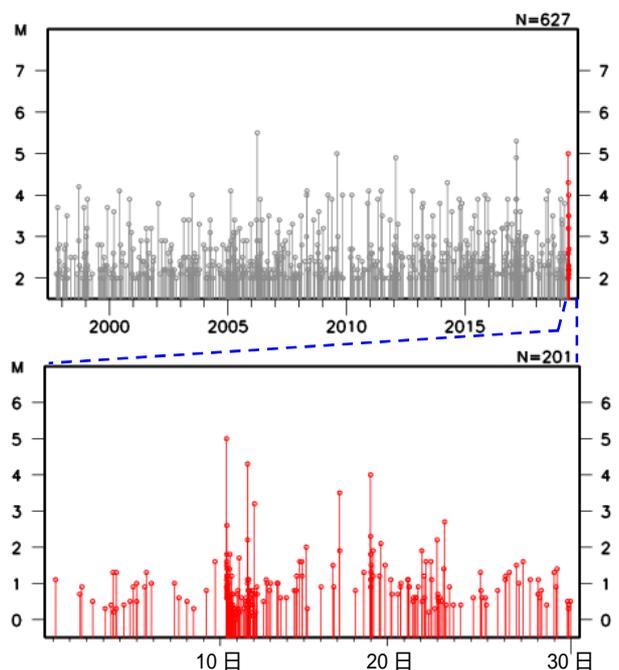
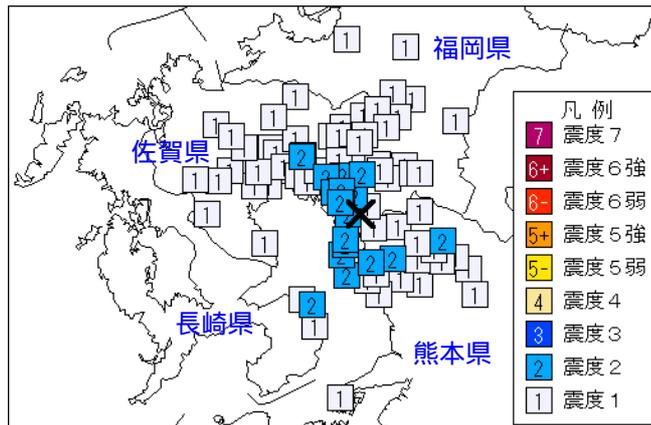


図8 図7領域d内の地震活動経過図  
（上段：1997年10月1日～2019年5月31日 M 2.0、  
下段：2019年 5月1日～2019年5月31日 Mすべて）

### 福岡県筑後地方

23日 19時 20分に福岡県筑後地方で発生した M3.7 の地震( 深さ 13 km )により、福岡県、佐賀県、長崎県および熊本県で震度 2 ~ 1 を観測しました。長崎県では、島原市で震度 2 を、雲仙市で震度 1 を観測しました( 図 9 )。

この地震の震源付近( 図 10 領域 e )は、M 4 以上の地震が時々発生している領域で、今回の震源から南東方向約 10 km 付近では、2019 年 1 月 3 日に M5.1 の地震( 深さ 10km、最大震度 6 弱 )が発生し、長崎県では、広い範囲で震度 3 ~ 1 を観測しています( 図 10、図 11 )。



5 月 23 日 19 時 20 分 M3.7

図 9 震度分布図 (観測点別 x: 震央)

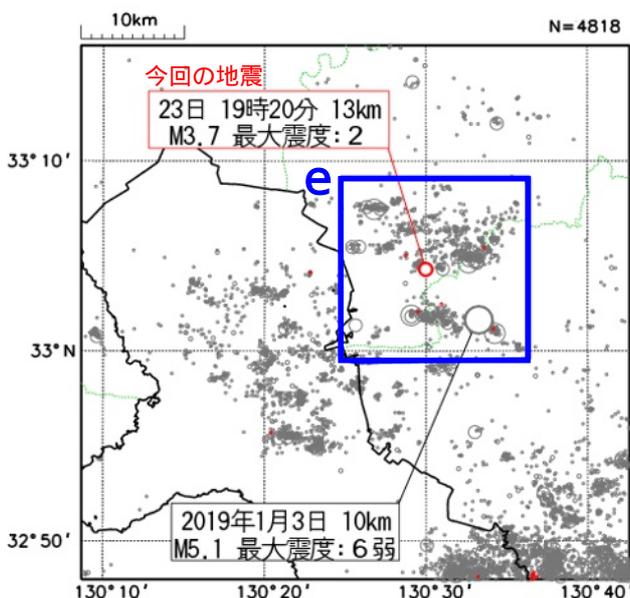


図 10 震央分布図

(1997 年 10 月 1 日 ~ 2019 年 5 月 31 日  
深さ 0 km ~ 30 km M 1.0)  
2019 年 5 月 1 日以降の地震を赤で表示

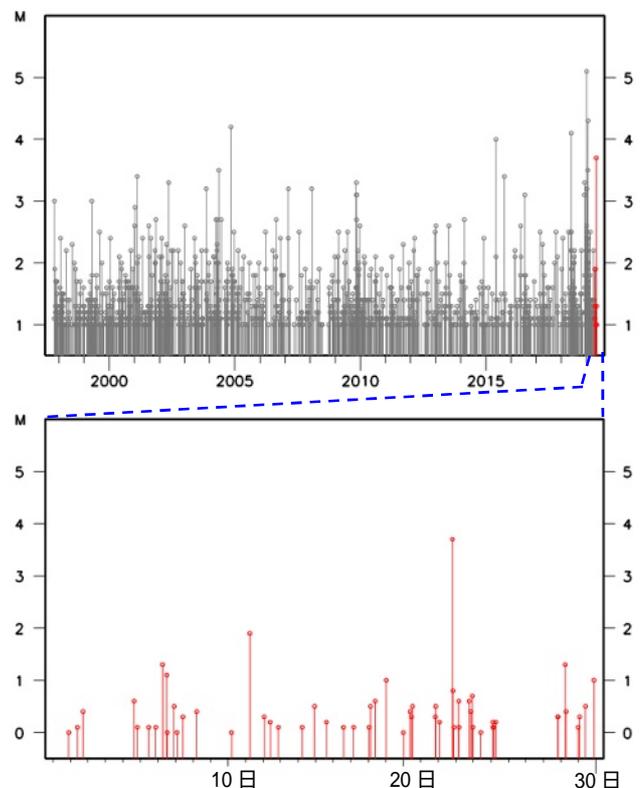


図 11 図 10 領域 e 内の地震活動経過図

(上段: 1997 年 10 月 1 日 ~ 2019 年 5 月 31 日 M 1.0、  
下段: 2019 年 5 月 1 日 ~ 2019 年 5 月 31 日 M すべて)

## 長崎県内で震度 1 以上を観測した地震の表 ( 5 月 1 日 ~ 31 日 )

震源時(年月日時分) 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2019年05月10日07時43分 震度 2 : 南島原市口之津町* 震度 1 : 諫早市多良見町*, 諫早市森山町*, 島原市有明町*, 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市吾妻町*, 雲仙市小浜町北本町*, 南島原市南有馬町*, 南島原市北有馬町* 南島原市西有家町*, 南島原市布津町*, 南島原市深江町*, 南島原市加津佐町*	日向灘	31° 47.1' N	131° 59.5' E	25km	M5.6
2019年05月10日08時48分 震度 3 : 南島原市口之津町*, 南島原市北有馬町*, 南島原市西有家町*, 南島原市布津町* 南島原市深江町*, 南島原市加津佐町* 震度 2 : 平戸市鏡川町*, 平戸市生月町*, 松浦市志佐町*, 諫早市多良見町* 諫早市飯盛町*, 諫早市森山町*, 諫早市高来町*, 大村市玖島*, 島原市下折橋町* 島原市有明町*, 雲仙市国見町, 雲仙市小浜町雲仙, 雲仙市千々石町* 雲仙市愛野町*, 雲仙市雲仙出張所*, 雲仙市瑞穂町*, 雲仙市吾妻町* 雲仙市小浜町北本町*, 南島原市南有馬町* 震度 1 : 佐世保市小佐々町*, 佐世保市吉井町*, 佐世保市世知原町*, 佐世保市鹿町町* 平戸市岩の上町, 平戸市志々伎町*, 平戸市田平町*, 平戸市大島村* 松浦市鷹島町*, 松浦市福島町*, 東彼杵町蔵本*, 川棚町中組*, 佐々町本田原* 長崎市南山手, 長崎市黒浜町, 長崎市元町*, 長崎市香焼町*, 長崎市伊王島町* 長崎市神浦江川町*, 諫早市東小路町, 諫早市堂崎町*, 長与町嬉里*, 時津町浦* 西海市西海町*, 西海市崎戸町*, 西海市大島町*, 壱岐市芦辺町芦辺* 壱岐市勝本町*	日向灘	31° 48.0' N	131° 58.4' E	25km	M6.3
2019年05月11日08時59分 震度 1 : 諫早市多良見町*, 諫早市森山町*, 雲仙市小浜町雲仙, 南島原市北有馬町* 南島原市加津佐町*	日向灘	32° 41.4' N	132° 17.6' E	36km	M5.0
2019年05月23日19時20分 震度 2 : 島原市有明町* 震度 1 : 島原市下折橋町*, 雲仙市国見町	福岡県筑後地方	33° 04.3' N	130° 29.9' E	13km	M3.7

注) 震源要素(緯度・経度・深さ・M)は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。  
\*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

## 「南海トラフ地震臨時情報」等の提供を開始しました

気象庁は、中央防災会議での「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」の変更を踏まえ、5月31日から「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」の提供を開始しました。

5月31日に開催された中央防災会議において「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」が変更され、南海トラフ地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合の国や地方公共団体、企業等の防災対応が定められました。

気象庁では、国や地方公共団体、企業等がこの基本計画に基づく防災対応をとりやすくするため、これまでの「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」や「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」に替わり、5月31日から「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」の情報発表を開始しました。

このうち「南海トラフ地震臨時情報」については、情報の受け手が防災対応をイメージして適切に実施できるように、「巨大地震警戒」「巨大地震注意」などのキーワードを情報名に付記します。

本情報の詳細については、気象庁ホームページの報道発表資料（ 1 ）をご覧ください。なお、内閣府（防災担当）（ 2 ）から公表されている「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン（第1版）」には、地方公共団体や企業等における防災対応の基本的な考え方や検討手順等が示されています。

情報名	キーワード	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報 ※防災対応がとりやすいよう キーワードを付して情報発表 します	（調査中）	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	（巨大地震警戒）	巨大地震の発生に警戒が必要な場合 ※南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合
	（巨大地震注意）	巨大地震の発生に注意が必要な場合 ※南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上M8.0未満の地震や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合等
	（調査終了）	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
南海トラフ地震関連解説情報		○観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 ○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）

1 気象庁報道発表資料

[https://www.jma.go.jp/jma/press/1905/31a/20190531\\_nteq\\_name.html](https://www.jma.go.jp/jma/press/1905/31a/20190531_nteq_name.html)

2 南海トラフ地震対策（内閣府ホームページ）

<http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/index.html>